

豊かで 住みよい 町づくり



Vol.
56

議会だより

2015. 2. 1 発行

上勝

臨時議会
12月 定例会

2P **臨時議会**

3P **定例会**

5P **一般質問**

6名が町政について質問

11P **視察報告** (山形県棚田サミット
島根県農業法人)

12P **株上勝バイオのアンケート結果**

14P **まちのようす**

第4回 臨時議会

平成26年11月28日

主な議題

専決第3号 平成26年度一般会計補正予算（補正第3号）承認の件
質疑の結果 原案承認
職員の給与に関する条例の一部改正
全員異議なく可決

平成26年度一般会計補正（補正第4号）
質疑の結果
全員異議なく可決

平成26年度国民健康保険（事業勘定）特別会計（補正第2号）
全員異議なく可決
平成26年度介護保険特別会計（補正第3号）
全員異議なく可決

平成26年度国民健康保険（診療施設勘定）特別会計補正（補正第1号）
質疑の結果
全員異議なく可決

平成26年度国民健康保険（福原診療施設勘定）特別会計（補正第2号）
全員異議なく可決

主な質疑

上勝公民館解体コンクリートについて
明本議員 コンクリートの廃棄処理はどのようにしたか。

横山総務課長
コンクリートの廃棄処分は、それぞれの業者がマニフェストに沿って行った。

平成26年度 一般会計補正予算

専決処分 平成26年度 一般会計補正予算（補正第3号）

衆議院議員総選挙費 追加額 411万5千円 総額 33億3,328万6千円

追加額 225万6千円 総額 33億3,554万2千円（補正第4号）

主な補正予算 ●財産管理費 上勝町公民館解体工事 145万8千円

特別会計

平成26年度 国民健康保険（事業勘定）（補正第2号）

総務管理費 追加額 5万2千円 総額 3億4,822万1千円

平成26年度 国民健康保険（診療施設勘定）（補正第1号）

施設管理費 追加額 26万1千円 総額 1億1,072万4千円

平成26年度 介護保険（補正第3号）

一般管理費 追加額 14万円 総額 3億6,335万2千円

平成26年度 国民健康保険（福原診療施設勘定）（補正第2号）

一般管理費 追加額 2万円 総額 2,871万2千円

第5回 定例会

開会 平成26年12月11日
閉会 平成26年12月22日

主な議題

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
質疑の結果 全員異議なく可決

家庭保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
全員異議なく可決

上勝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
全員異議なく可決

国民健康保険条例の一部を改正する条例
全員異議なく可決

重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
全員異議なく可決

平成26年度上勝町一般会計補正予算（補正第5号）
質疑討論の結果 5対2で可決

国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（補正第3号）
全員異議なく可決

教育委員会委員の任命同意について
全員異議なく可決

「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書
質疑の結果 全員異議なく可決

請願

地方自治法第99条の規定により国の関係機関に「国民健康保険の広域化に反対し、国庫負担の復元を求める意見書の提出」を求める請願
質疑の結果 5対2で不採択

公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願
質疑の結果 6対1で採択

発議

「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書
質疑の結果 全員異議なく可決

教育委員会 委員の任命に 同意しました

（敬称略）

●任期 平成27年1月1日より
平成30年12月31日まで



大字生実
阪野 春 樹

平成26年度 一般会計補正予算（補正第5号）

追加額 2,417万7千円

総額 33億5,971万9千円

質疑討論の結果
5対2で可決

●企画費 旧正木ダム職員宿舍購入費	700万円	●総務費 県知事県議会選挙費	156万1千円
●企画費 美しい集落再生プラン支援補助金	550万円	●月ヶ谷温泉交流施設費 交流施設テレビデジタル化対応費	142万3千円
●農業委員会費 農地台帳システム整備事業	199万8千円	●老人福祉総務費 安心安全見守り費用	73万5千円

平成26年度 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（補正第3号）

追加額 33万3千円 総額 3億4,855万4千円

●一般管理費 27万円
●疾病予防費 6万3千円

質疑討論の結果 全員異議なく可決



議員 明本 恵一

3セクに入れ込み住民負担が重い町に 上勝バイオはどうするか

明 本

問 26億円増資後の株主の持ち株比率は。

答 花本町長 上勝町

J A東とくしま	97.1%
徳島銀行	1.042%
中央森林組合	1.16%
吉成敏夫氏	0.09%
	0.07%

問 実勢株価は。

答 花本町長 増資後は13,614円概算である。

問 バイオ社長から出された再建計画書を町長は点検承認しているか。

答 花本町長 再建には多額の設備資金を要する。全面認証ではない。

上勝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

明本議員 家庭的保育事業とは。

桑原住民課長

施設より少人数で0才〜2才までの児童を預かるもので、4類ある。

- 1 家庭的保育事業
- 2 小規模保育事業
- 3 居宅訪問型保育事業
- 4 事業所内保育事業

明本議員 上勝町で実施されたか。

桑原住民課長 今のところない。

上勝町一般会計補正予算（補正第5号）

鹿島議員 正木ダムの宿舎は2軒分か。

横山総務課長 単身1棟、世帯棟（2戸）1棟の2カ所。

明本議員 予算700万円の内訳は。

横山総務課長 2カ所合わせて823㎡（㎡8,000円）で68万円、家屋（2戸）で40万円。

木材乾燥施設ボイラー増設補助事業について

渡部議員 燃料に木質チップを使ったボイラーも検討したか。

山田産業課長 検討はしたが、灯油のボイラーにした。

明本議員 点検修理をしていけば、まだまだ使えると思うが、なぜいるのか。

山田産業課長 ボイラーの点検は年3回しているが、故障すると部品がないので、事業に支障をきたす。

岩本議員 衆議院議員選挙と県知事選挙の予算額が違うが、どうしてか。

横山総務課長 県知事選挙費は、期日前投票が年度内に実施されるための費用でポスター等。（選挙は4月に実施のため）

ごみゼロ運動と 住民負担軽減

問 廃掃法は収集・運搬・処分は町長の責務だ。前町長も「ゴミ収集は町の基本業務」と認めていた。後退させるのか。

答 花本町長 廃掃法2条には「町民の協力」をうたっている。今のままが良い方法だ。

問 町民負担を減らし、役場はマンパワーを投入し、粗大ゴミの分別をしてゼロウェイストを推進せよ。

答 花本町長 住民に不便をかけているが、費用節減になっている。収集箱設置は住民の意向を調査したい。

地域おこし協力隊 の成果は

問 委託先別の成果と問題点を問う。

主な討論

なく、次の方向へ基金のある内に解決すべきである。

賛成 松下議員

現在の木材システムは生木搬出で製材加工となっている。

材木の消費を高めるためにも、乾燥施設は必要である。

賛成 藤田議員

もくさんはいいい仕事をしていると評価もあり、会社として成長できると感じられる。これからの活動を見てみたい。

反対 明本議員

ボイラーは修理可能である。本体まで替えるのは安易な考え方である。同じメーカーの製品であり、修理部品を作らせるべきである。

反対 渡部議員

町費で施設を作れば維持費がかからないという考え方である。

25年度の第3セクター経営検討委員会でも、もくさんは廃止もやむを得ないと判断された。ズルズルと維持してゆくのでは



災害復旧工事完了現場（市宇）

答 桑原住民課長

勝浦町では防振ベッドを導入しているが、車酔いの苦情があったそうだからに検討された。

問 人命に関わることに

深層崩壊の恐ろしさについて

問 深層崩壊は深刻な大災害を引き起こす。専門家、学者等を招いて講演会を開くなど役場、町民の正確な知識を深めてはどうか。

答 中原建設課長

情報収集は重要だが、まず、国、県の動きに注視していきたい。

問 市宇地区の水抜きボアリングは、どうなっているか。深層崩壊予防か表層か。

答 中原建設課長

表層の部分だ。ボアリングは地元要望で1か所実施し、1か所残っている。



武市 功 議員

武市

産業課長

問 公費投入による再建策、その後の資金繰り状況は。

答 山田産業課長

10月末、長期債務1億5,850万円完済、原材料、諸経費、買掛金、未払金を支払い、当月買掛金のみで改善されている。

問 昨年から続いている不良債、その廃棄状況と損失額は。

答 山田産業課長

原因は黒カビ菌、黒麹菌。おが粉殺菌以降から培養までの段階で、袋内に菌が入り増殖したものと考えられる。廃棄の楯は7万3,511本、損失額は培養までの原価計算一楯44円として323万4,000円。

問 原因の解明が出来ぬまま、販売量重視で、量産製造を続けてきた状況では。

答 山田産業課長

昨年もカビ問題はあり、10月を過ぎるとカビ菌の発生は急減少していたので、量産体制としたとのことである。

問 規模縮小は経営として成り立たないとのことであるが、その根拠は。

答 花本町長

製造部等の各工程の人員、又人件費冷暖房費などは120万本も145万本もほぼ同額で、120万本体制にすると損益が急激に悪化、今の陣容を考えると量産することが経営的には安定するということである。

問 現在の従業員の仕事を休ませるわけにいか

いとのことと思われるが、規模縮小し、人員も削減すれば経営として成り立つのでは。

答 花本町長

各部署の人員を時として配置換えするのは難しい。雇用の形態として非常に悪い状況になる。極端には、今ある35棟を10棟にすれば示しができていないが、することは可能かと思う。

問 影山社長には、今年5月に辞任願が出されたようだが、社長の交代については。



再生が期待される上勝バイオ

答 花本町長

影山社長は経営能力には優れたものがあると思っている。椎茸についての製造、栽培については素人であるかもしれない。現状の中で、社長になっていただける人材が見つからなかったのが現実、増資による課題解消もでき、そうした条件の中で、また模索をして行きたい。

JA旧福原事業所跡利用は

商工会が新たな産業会館として活用

／山田産業課長

問 JA福原事業所跡の土地建物購入費、修繕費用は。

答 山田産業課長

400万円で購入、修繕は株もくさんに417万9,600円で発注。

問 管理方法については。

答 山田産業課長

商工会に管理依頼、新たな産業会館として、指定管理ではない方法で貸し付けをしていきたい。店舗部分については地職住推進機構が上勝百貨店として営業。

問 上勝百貨店が展開する事業内容は。

答 山田産業課長

福原事業所跡では雑貨販売、簡単な農具類、取扱可能な農薬等順次販売。正木地区の施設では、地ビール製造販売と雑貨販売である。

問 正木の施設の建物についてはどの所有となるか。

答 桑原企画環境課長

株スペースが事業主体で建設するもので、町のものではない。

他、県道改良工事、千年の森ふれあい館を避難所に、スクールバスのエンジントラプル等質問。

旧JA福原事業所施設の活用は

岩本

産業課長

上勝百貨店は1月20日頃オープン出来る

福原事業所関係

問 どのような改修が行われるのか、工期はいつまでか。

答 山田産業課長

11月14日から平成27年1月9日までが工期である。改修の内容は屋根の葺き替え、外壁工事、サッシの入れ替え等である。

問 改修費用は417万円とあるが、1階の改修費は商工会が負担するのか。

答 山田産業課長

外周工事は町負担であるが、内装工事は商工会にお願いしている。



岩本文昭 議員

問 JA東とくしまのATMが設置されているが契約内容は。

答 山田産業課長

県内いろいろ調べてみたが1ヶ月5,000円、年間6万円が適当と思われる、この価格で契約した。

太陽熱温水器の補助金

問 現在太陽光発電、薪ストーブ等については補助金制度はあるが、温水器は対象外である。補助金の対象にすべきと考えるが見解は。

答 桑原企画環境課長

平成16年度に上勝町地域新エネルギービジョンを立てている。その中で太陽熱利用の事も目標の中で掲げているが、太陽光発電の買取制度が注目を浴び、温水器については存在が薄い状況であるが今後検討して行きたい。

答 花本町長

温水器については初期投資が25万円程度と認識している。太陽光発電等については初期投資が大きい、小額のものには自費でお願いしたい。補助の対象にしても小額しかできない可能性もあるが検討する。



改修される旧JA福原事務所



鹿島 國男 議員

大雪で通行止めは 倒木での通行止めは なかった

鹿島

建設課長

問 西部で大雪が降り倒木により通行止めになり孤立した地域があったが、本町はどうだったか。

答 中原建設課長

雪による倒木での通行止めはなかった。電柱が曲がったが、停電はしなかった。

問 孤立したときのために、食料や日用品を備蓄しては。

答 横山総務課長

災害用の備蓄を使う。特に用意はしない。



大雪に見舞われた上勝

問 本町もＩＰ電話を引いているが、停電になったときの対策は。

答 横山総務課長

本町は841戸の内794戸でＩＰを引いている。ＮＴＴは544戸ある。ＩＰだけの人に対しての用意はしていない。

公用車のエアバックは安全か

問 公用車のエアバックは大丈夫か。

答 横山総務課長

スクールバス、消防車を含め41台あるが、今のところメーカーから連絡はきていない。

補聴器の購入者に補助を

問 障害者で補聴器の購入者に補助金を出しては。

答 桑原住民課長

補装具のように補聴器の購入者に補助をしている。(詳しくは住民課へ問合せ下さい。)

インフルエンザ対策は

問 インフルエンザの発生状況は。

答 桑原住民課長

12月12日までで、3人の感染者があった。予防接種は、702人が受けた。

答 立川教育長

学校での感染者はいない。うがいや手洗い、マスクのつけ方等の指導をしている。

今後の上勝バイオは

問 今後、運転資金が無くなったらどうするのか。

答 花本町長

そのときの状況により判断する。

問 設備に関しては。

答 花本町長

第3セクターなので必要な設備は支援していく。

問 今後どうするのか。

答 花本町長

再建築を模索している。さらに投資をしていくのか、整理をするのか、判断の時期がきている。

他に、臨時福祉給付金について質問した。



松下 和照 議員

地方創生と集落再生との差異は

地方創生は 地方の独自性を出す事

松下

町長

問 地方創生と集落再生について町長の考えを問う。

答 花本町長

地方創生とは、まち・ひと・仕事等地方への人口流入について計画を立て、地方の独自性・特色を出す事、国の動きでは平成27年度の早いうちに計画案提出が求められる状況。集落再生については町民各位が住みつづける地域の環境整備等、生活基盤を自ら維持管理し努力する事である。

問 地方創生に関し提案だが、植林過剰の針葉樹林の改植や海拔800米以上は広葉樹林に替える要望はできないのか。水の涵

養、生物多様性に役立つが。

答 花本町長

町の独自性と言う事だが、町内の山林・いりどり産業・教育・観光について考えていきたい。地方創生は5ヶ年計画なので人口増波及効果、仕事の継続等提案していきたい。林業について伐採従事者の高齢化もあり、限られた面積であれば5ヶ年計画の中で考え方を加味していきたい。

問 社会資本の整備の進捗を伺う。

答 花本町長

県道上那賀線下菅蔵地区は、ほぼ完了。葛又地区も工事契約済。上菅蔵地区も引き続き進捗中。川口工区も用地取得に着手、福原地区の宿泊体験施設も条例施行により管理委託開始。林道については、神明杉地線と杉地喰田線の接続にむけて進捗中である。

問 人口動態について伺う。流入・転出・出生・自然減は。

答 桑原住民課長

出生は26年12月10日までで4名、自然減は34名転入者34名、転出者30名となっている。

問 移住交流宿泊体験施設の現状は。

答 桑原企画環境課長

社団法人ソシオデザインと管理委託施設締結、その後、営業との事。毎日7、8人が利用。食事はイタリアン料理を提供。施設使用料として町へ2万円納入となっている。

第4期中山間直払い制度

問 方向性を危惧する(参加しやすく脱退も考え方を伺う)。

答 山田産業課長

第4期5ヶ年間農地の維持管理を前提に10割又



棚田の石垣修復(生実)

と自然体験活動有資格講習と更なる県・町への講座誘致に支援を。将来の観光案内等、上勝町に役立つと思うが。

NEALリーダー講座
ノルディックウォーク
オープンファーム
棚田のライトアップ
棚田のオーナー制度
棚田のウェディング
等々

答 森副町長

本年度国交省の補助採択を受けて、上勝町の棚田・集落・外山等地域資源を活用、地域ビジネスの創出を目指し、現在試行中の活動を商品化した団体を中心に商品として販売する必要がある。町としても活動内容を検証しながら業務開始出来るよう支援してまいりたい。引き続き上勝町エコツーリズム推進事業により自然体験活動指導者の育成等について支援しており、平成27年度についても継続して指導者講座を実施してまいりたいと考えている。

産業会館を文化財に

渡 部

保存の価値はない

教育長



渡 部 厚 子 議員

問 町の文化財は昭和57年に9点が指定されているがその後は。

答 吉積教育委員会事務局長 調査はしているが指定に至ったものはない。申請が今までにあったものは、天然記念物としてイチイガシ、クスノキ、ミツバツツジ、無形文化財として式三番叟等である。今年度改めて、5地区に分けて調査を文化財保護審議委員会にお願いしている。

問 一度指定から落ちたものはもうだめなのか。

答 吉積教育委員会事務局長 今回は今までに上がってこなかったものの調査をお願いしている。しかし、そのときに指定までいかなかったものも可能性はある。

問 産業会館は老朽化がひどいが、いつ建設されたのか。

答 山田産業課長 明治25年に役場として建てられたと思われるが、十分にわからない部分もある。



雨漏りしている旧役場

問 いい建物だという声が多いが保存してはどうか。

答 森副町長 手前の元郵便局と合わせると大正ロマンが感じられるが、外壁も傷み、雨漏りもしている。

答 立川教育長 建築当時そのままの姿で残っていないので価値は低い。保存には経費もかかる。

答 桑原企画環境課長 危険なので早いうちに取り壊して具材の再利用を検討するのが良い。

フィジー留学の展開は

海外留学が教育移住につながる

／企画環境課長

問 フィジー留学応募は何人あったか。行くのは2人だけか。

答 桑原企画環境課長 中一が2人、中二が1人、社会人1人の応募があったが、内1人辞退した。行く人数はテストの結果次第で1人になるか、3人になるかもしれない。海外留学をするのは上勝が良いとなつて教育移住をしてくれるかというと思う。

バイオは町内雇用のためではないのか
地域経済への影響などが判断材料
／町長

問 上勝バイオは雇用の場として赤字でも存続させるつもりか。

答 花本町長 役場よりも大きな従業員数であり、わずかな赤字であれば残すという判断になる。

問 町内の雇用が何人になつたら存続意義を認めないのか。

答 花本町長 バイオの存続は町内の従業員数で決定するものではない。取引先のダメージ、地域の経済への影響なども検討して判断すべきだ。

その他、株もくさんの存続意義、町より郵送する窓付き封筒について質問した。

第20回全国棚田(千枚田)サミット 未来へつなごう実りの大地

山形県上山市

平成26年10月23日～24日

第一日 全体会

10月23日、全国棚田(千枚田)連絡協議会総会が上山市体育文化センターで開かれ議員全員が出席、総会において中山間直接支払制度の宣言文強化を要請した。其後、全体の開会式に臨み、午後現地棚田の見学会があり、日本の棚田百選コースと蔵王高原コースに別れ、東北の雄大な棚田を巡った。

棚田百選上山市朝日町の「榎平の棚田」は14haで200枚、耕地整理がされている。生産量は年間60トンでコシヒカリや、つや姫等で減農薬栽培を実施している。棚田は保全隊を構成、維持管理。又駐車場や直売所を設

けている。2つある展望台からの眺めは素晴らしい。帰りのコースで山辺町の「大蔵の棚田」に寄った。この地域は天水中心の棚田で水路は狭かった。両棚田ともに杭掛けによる自然乾燥で「はでばし」の上勝とは方法が異なる特色が見られた。

この地域は各種団体による協働作業による田植や取り入れが行われ、都市住民との交流が行われていた。

上山市の棚田の取組で気付いた事を5つに分けてみると、棚田百選。温泉を中心とする取組。食彩が豊かな湧水多く、わさび、フキ、リンゴ、ラフランスなどの栽培。自然体験(山歩き、上山クアオルトツアーリズム)

上勝町の花でもあるリンドウの花を平成11年より栽培との事。次に交通の良さ(山形新幹線、庄内空港、山形空港等々)である。

夜、交歓交流会が日本の宿「古窯」にて開かれ、全国津々浦々から集まった850人の棚田人との交流の和が広がった。第17回全国棚田サミット上勝町開催時に民泊した方々とも交流旧交を温めた。

東北に於いても不利な条件下で代々棚田を守り、今日耕作者の減少、米ばなれ価格低下の折、協同の精神、保全隊が中心になり活躍していた。

震災復興という大きな命題に向かって進む姿に感動した。(松下)



榎平の棚田一望

第20回全国棚田(千枚田)サミット
第2日 第2分科会

おむすび権米衛という俵イワイがや
っているおにぎり屋がある。

首都圏を中心に41店舗を展開、アメ
リカにも進出している。

イワイは御存知、世界中で物資を動
かしている会社だが、日本の小麦輸入
に危機を感じ、日本の食料自給向上に
取り組むようになったそう。

おむすび用の米は市場価格の2倍で
契約農家から直接買う。

しかしどんな米でもいい訳ではない。
減農薬、減化学肥料、除草剤1回だけ、
有機栽培がもっと望ましい。そして継
続して生産できること。

店舗にはどこその米使用と大きく
展示される。地名とその地の取り組み
が売りになる。

それでも日本中こだわりの米はたく
さんあるに違いない。どうやって選ば
れるか。

鳴子の「ゆきむすび」米の場合は、
学生時代に鳴子へ遊びに来ていた女性
がイワイに就職し、その後も手伝いに
鳴子へ来ていたのが、他の社員達も来
るようになり、そして米を買う話がで
きた。

川西市東沢地区の場合、町田市から
短期・長期の山村留学生を17年間受け
入れてきた。その留学した子供に、イ
ワイに勤めている親がいた。

別の話。

岡山県美作市に上山という過疎の見
本のような集落がある。そこへ東京あ
きる野市生まれの学生が、地域おこし
協力隊でやってきた。この人達に愛
着が湧き、卒業後住みついた。

やっていることは、どこの過疎地で
もやらねばならぬ、やりたい、けど無
理やとあきらめていること。それを片
っ端から明るく楽しくやってのけ、結
果住民がどんどん増えている。若い女
医まで住みついた。

いろいろあったに違いないが、ネガ
ティブな言葉は発さない。次の課題を
どう楽しむかを考えている。

水柿大地、25才。ただ者でない。よそ者
若者、バカ者の理想型。

協力隊員、インターンシップ、旅行、
ふらりと、いろんな形で都会から若者
がやって来る。変なの、軟弱なの、だ
めなの、いろいろいる。

しかし、若者は変わってゆく。力を
つけながら成長してゆく。上勝に来る
若者一人ひとりに町の運命がかかって
いるのだ。ゆめゆめ粗末に扱つ勿れ。

(渡部)

集落営農「農業法人」先進地を訪ねて

島根県

平成26年11月25日〜26日

島根県邑智郡美郷町
「ひじきドリーム」

- ・農家戸数 24戸
- ・法人加入戸数 20戸
- ・耕地面積 水田11ha、畑1ha
- ・高齢化率 62.5%
- ・平成7年営農組合発足、翌年特
定農事法人登録
- ・地域おこし協力隊、町に23人、
比敷集落に2人活動中
- ・米販売JA出荷なし、弁当店
等へ契約販売。エコロジミ
の認定を受け農薬・化学肥料
50パーセント減栽培、収量10
アール当たり420kg、玄米単価30
kg7,000円で販売
- ・餅米1ヘクタール生産、餅加工
販売
- ・種苗会社と契約した採種（カ
ブ・大根）販売
- ・地域おこし協力隊発案による幻
の果実ポポーを、4次元化プ

プロジェクトで発足し「森のカ
スタードクリーム」ポポージ
エラート販売



カブ、大根の採取畑

島根県雲南市木次町湯村
「槻之屋ヒーリング」

- ・世帯数33戸 ・人口103人
- ・主業農家戸数 4戸
- ・副業農家戸数 2戸
- ・標高250m〜300m
- ・水田19ha・畑1ha
- ・高齢化率41%
- ・2つの法人組織（地域活動振興
会組織と集落営農法人）
- ・特別栽培米（奥出雲癒し米）の
ブランド化
- ・理事3名で事業運営
- ・給与、手取月18万円（他福利厚
生費等込めると24〜25万円）
- ・ビニールハウスで夏野菜栽培
（多品目少量生産）
- ・菌茸類栽培（なめこ、ヒラタケ）
- ・道の駅レストラン経営（サラダ
バー、1,300円食べ放題）

両地域ともに、圃場整備事業に
よる集落一帯の整備が進められ、
農地の保全が将来的に安定して継
続できる方法として法人組織を発
足、地域の活性化活動と連動して運
営。



ビニールハウスのアイスプラント

集落内農地は営農法人に任せき
りで、外に職場を求め働きに出て
農家が農業をしていない状況も。
法人へ地区外から雇用受け入れ
をしているが、将来を考えると地
元農家の後継を望まれていた。今
年度の米価の暴落で農業経営が一
段と厳しくなったとのこと。
地域おこし協力隊はそれぞれの
地区へ、特産品の開発等直接的に
かかる活動を行っている。
高齢化で益々厳しくなっていく
本町の農地の保全、いかに進めて
いくべきか、あらためて深く考え
させられた。（武市）

上勝バイオに関するアンケート調査結果報告

町内各名の役員の皆様にアンケート調査をした結果を報告
いたします。今後の第3セクター調査研究特別委員会におい
て参考にさせていただきます。

- アンケート依頼者数 139人
- アンケート回答者数 98人(70.5%)
- アンケート未回答数 41人(29.5%)

問(1) 番号(1〜5のいずれか)に○を付けて、□内にも「レ印」を入れて下さい。

1. (株)上勝バイオを存続する。

- 16 雇用を確保のため必要である。
- 3 上勝町の信用を失いたくないため。
- 4 その他（理由など何でもお書き下さい。） ●18人（14.5%）

2. 条件付きで、(株)上勝バイオを存続する。

- 14 規模を縮小し再建を図る。
- 18 今後赤字が出ても、公費負担は一切しない。
- 6 その他（理由など何でもお書き下さい。） ●27人（21.8%）

問(2) その他、ご意見があれば何でも書いて下さい。 ●44人

3. (株)上勝バイオは廃止する。

- 46 何度支援しても同じ事。再建の見込みがない。
- 20 公費がかかりすぎる。
- 9 その他（理由など何でもお書き下さい。） ●51人（41.1%）

4. 第3セクター以外の事業者で事業を存続する。

- 11 椎茸事業 13 その他事業 ●16人（12.9%）

5. わからない。 ●12人（9.7%）

●計 124人（100%）

※複数の番号に回答していただいた方もありますので、
回答者数の98人と上記計の124人は一致いたしません。

まちのようす



市宇敬老会



成人式



消防放水演習



棚田村空家改修



旭中村県道改修工事



喰田住宅改修中

編集後記

早春の新聞紙面に、主役は自分、頑張る人、国が後押しの見出し、2030～40年には、限界集落どころか人口1万人未満の896の市区町村が消滅というショッキングな論文がきっかけとなったと言われる地方創生。

団塊の世代が後期高齢者となり超高齢化社会が訪れる社会現象、Uターンによる人口増加策、若者が地方に定住し次代を担っていただける施策が急がれる。

役場を住民総合サービス会社と位置付け、行政主体のまちづくりを進めた先進事例も。今やらねば、手をこまねいている暇はない。

どうする上勝町、主役は私達住民みんなである。
(武市)

